

第1回学校活性化那賀町地域協議会議事録

(1) 高校再編方針について

委員

学校間連携とはどのような内容ですか。

県教育委員会

他の高校との連携を図るものです。例えば那賀高校では取得できない職業資格を他の高校で取得する，専門的な講義を他校で受ける等，他高校との協力態勢を築くことを目的としています。

委員

学校再編の中の「中山間地域の高校のあり方」についての質問ですが，入学者数80名を2年連続して下回ると，那賀高校は分校化するとあります。那賀地域の中学生徒数を考えると，那賀高等学校の入学生徒数はいずれ近いうちに80名を切ることが考えられます。下（阿南・小松島・徳島）に行くにしても交通費・下宿費用等，経済的な問題が重くのしかかってきます。このことについて教育委員会の考えを伺います。

県教育委員会

高校は多様なカリキュラムがあり，選択科目は，生徒数があまりにも少なくなると開講されなくなります。部活動も同じような問題を抱え，生徒が多くの人と交友関係を持つ機会も失われます。また，専門的な教員を配置し，魅力ある教育を実施するのが困難になります。那賀高校は，現時点では80名で本校規模を維持するということですが，将来的に生徒数が減少した場合には分校ということも考えなければなりません。

委員

那賀高校がスポーツ指定校から外れた理由を教えてください。バレーなどは市内や海部郡からの希望も多くあります。カヌーも同様です。指定校となれば，生徒の活動内容も活発になり，他中学校からの生徒募集も可能になります。また，生徒数80名ばかり強調していますが，どの時点での80名なのですか。

県教育委員会

競技力向上スポーツ指定校事業は生徒募集と全く別のものと理解してください。統合の基準は入学者が連続して80名を維持しているかどうかになります。

委員

商業科，工業科を設置した総合的な併設型中高一貫教育への移行は視野にないのですか。職業高校へ通いたいという生徒もいますが，その様な生徒のニーズに合う，特色のある高校へとは変わらないのでしょうか。

県教育委員会

現在も那賀高校には福祉や情報コースがあります。今でも商業科等の職業科目を取り入れることは可能ですが、あくまでも普通科の枠内での検討をお願いします。

県教育委員会

工業科の設置については難しいと考えられます。様々な職業的な要素も含め総合的な普通科としてどういう生徒を育てていくか、そのためにはどんなコースがいいのかをこの1年間で話し合っていたいただきたいと思います。

委員

那賀高校は再編対象校ではありませんが、施設の整備はあるのでしょうか。

県教育委員会

現時点では具体的に言えませんが、どういう活性化案になるかによると思います。

委員

高校の耐震検査，設備などは県内及び本校では十分できているのですか。

委員

本校では昨日（8／8）から実施しております。

委員

教師と生徒間の温かい交流等，那賀高校には小規模校にしかない良さがあります。海部高校はJRがあり交通手段が確保されていますが，勝浦・那賀地域は交通手段が十分ではありません。那賀高校がなくなると，他校に通学するとしても大変不便です。

また，分校という言葉自体の響きも気になります。

委員

1学年80名（1クラス40名）ということですが，徳島県で6分の1を占めるこの地域にあるただ1つの高校である那賀高校で子どもたちを育てていけるようにしていきたいと考えています。地域性など数字で割り切れない部分も加味して考えてください。

委員

最近の子は進路に対する希望を強く持っています。また，多少遠くても子どもの希望する学校へ通わせたいというのが正直な親の心境です。那賀高校に普通科だけでなく，商業科，工業科，看護科などを増設していただき，資格が取れるような学校にして欲しいと思います。

(2) 那賀高校の現状と活性化について

委員

若鮎寮の入寮者数は現在何名ですか。

事務局

男子19名、女子22名の41名が在寮しています。

委員

本校は山間部の限られた地域の子どもたちが通うことのできる唯一の学校です。本会では再編だけを目的にするのではなく、施設面の強化、150名程度在寮可能にするための寮の拡張など施設の充実を図った上で生徒数確保を考えるべきではないでしょうか。

また、実務者会議はどのようなことをしているのでしょうか。

事務局

実務者会議は、地域協議会で協議していただいたことをもとに調査・研究をしています。

委員

総合的な学科を設け、資格取得も可能ですよということで、阿南・那賀・海部にアンケートを取れば、どのくらいの生徒が入学を希望するのか、ニーズがはかれるのではないのでしょうか。入学試験の結果を待つのではなく、先に方向性を求めていただきたいと思います。

委員

驚敷地区の生徒の進学率が低いのが現状です。子どもや保護者へ広報していく必要がありますので、学校は、魅力や受け入れ体制の充実を具体的に伝えていく努力をしてください。

町の方針としては、地元の高校を支援していく体制です。例えばクーラーの設置、交通費の負担軽減、奨学金の充実もその一環です。これからも寮に入れない遠距離通学生に対して町の施設を活用するなど協力していきたいと考えています。

委員

地方自治体が地元の高校を支援している体制は他の地域ではありますか。

県教育委員会

クーラーの設置や負担金の支出は自治体はかなり協力してくれていると聞いています。那賀高校に対する地域の支援は県下でもトップレベルにあると思われます。

委員

木頭地区からの通学費は2万数千円(定期代)となりますが、その内5千円(月額)の補助をしています。今年は補助の対象地区を広げ上那賀地区でも長安より上流から通う生徒にも5千円(月額)の補助をしていますし、これからもできるかぎりの支援をしていきたいと考えております。

委員

木頭地区の生徒はバスでの通学時間は1時間半程度、また、木頭の奥から通う場合は2時間程度かかるため、補習、部活に十分参加できません。下宿・寮の充実を図ってください。

委員

日和佐高校にはかなり大きな寮があり、遠隔地の生徒を支援していました。生徒が那賀高校で学びたいと思っても施設が十分ではありません。この問題を解決する必要があると思います。

委員

地元に高校があるというだけで地域の活性化につながっています。また、期待していたスポーツ指定校はすべて市内の大規模校に集中しているように思います。小規模校でも頑張っているところがあるので、目を向けてください。

委員

生徒がよくあいさつをしてくれるなど、那賀高校の子どもたちのすばらしさも那賀高校の魅力として発信できればよいと思います。

委員

生徒の挨拶、掃除などはよくできていますし、生徒指導面にも力を入れております。普通科では進学率が重視されがちですが、生徒指導、部活動面など学校力で評価してほしいと思っています。

那賀町の中学校2年生が65名であり、定員80名を確保するためには、那賀町以外からもっと生徒を集めなければなりません。市内から生徒を集めるには広報活動しかないと考え、飛び込みでの学校訪問も行っています。これからも那賀高校の魅力を伝えていきたいと考えております。

また、ソフト面ハード面からもどんどん力を入れていこうと考えております。

委員

例えば制服をカッコよくしてはどうかという意見を聞きます。制服の改良等その他、意見はないでしょうか。

委員

保護者負担は受け入れるべきですが、できれば県の予算で施設の充実を図ってください。最終的には地元の協力も必要ですが。

那賀町以外の生徒を集める必要性を感じています。

しかし、住居もないのに生徒確保は困難であり、寮の拡張は必須であると思います。

生徒が学びたいものは何かを知る必要があります。総合的な高校の連携も考えながら進めていかなければならないと思います。

委員

学校の行事は一般開放されていますか。

委員

明後日から中学生の体験入学を実施します。
また、文化祭、体育祭は開放しています。

委員

学校の体育祭などは、なかなか見に行けないのが実状です。
PRをどうするかが課題ではないでしょうか。

委員

中学1，2年生は体験入学できないのでしょうか。

委員

今年度は無理ですが、来年度から検討したいと考えております。

委員

防犯面の問題もありますが、地域の人たちが学校をみる機会が多い方がいいと思います。

(3) その他

委員

スポーツ指定校の選考方法はどうなっているのですか。見直しはあるのでしょうか。

県教育委員会

生徒確保、学校の支援体制、強化のための取り組み等資料やプレゼンテーション等から選考しました。

目的の中には学校活性化もありますが、全国で上位になれるかが選考基準です。那賀高校のバレーボールの場合は全国での活躍や過去の実績を考慮すると選ばれにくかったのではないのでしょうか。那賀高校の努力は分かりますが、地元中学校の支援体制という面を考えても選考されにくかったと考えられます。

カヌーは競技人口が少なく、生徒集めという点で、地元中学生も参加していないということから難しかったと思います。

選考された高校が指定校として適しているか、他校で適した高校はないかなどは5年間、評価委員会で検討し、長期的なスパンでみていくこととしております。

委員

選考された高校は体育文化後援会の充実した大規模校ばかりに集中しているように思います。

また、1年ごとに評価を見直すのでしょうか。

県教育委員会

学校規模の大・小に関わらず選考しています。成果があがれば、追加指定されることもあると思います。

しかし原則的には5年間指定ということを理解してください。

委員

大規模校は活動費も集まりやすいと思います。小規模校は金銭面で苦しいことも考慮してください。